



2020年度 J-STAR プロジェクト 4期生エントリー数が確定 ～過去最多となる 1,834 名が応募～

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ための環境づくりを行う JSP0（正式名称：公益財団法人日本スポーツ協会 東京都新宿区／会長 伊藤雅俊）は、全国から将来性豊かなアスリートを発掘する「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト（J-STAR プロジェクト）」の4期生を募集した結果、エントリー数を下記の通り確定しました。

	オリンピック競技	パラリンピック競技
男性	916名	130名
女性	749名	39名
合計	1,665名	169名

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、エントリー開始時期の見直しやエントリー方法の変更等を行いました。コロナ禍でも、一人でも多くの子どもたちや障がい者に夢や希望をもって、スポーツでチャレンジできるよう、J-STAR プロジェクトでは、4期生のエントリーをオリンピック競技は11月、パラリンピック競技は10月（一部9月）から募集開始しました。

その結果、今年度は、オリ・パラともに過去最多となる合計1,834名の応募がありました。

オリンピック競技については、3月下旬頃までに4期生候補を選出する予定としており、パラリンピック競技については測定会（一部、新型コロナウイルスの影響ため測定会を延期）を経て、4期生候補を選出する予定としております。

4期生に最終選出された選手は、約1年間の合宿・トレーニング（検証フェーズ）を行い競技への適性等を見極めていきます。

■「J-STAR プロジェクト」とは



世界で輝く未来のトップアスリートを発掘するプロジェクトです。2017年4月より開始された第2期スポーツ基本計画及び2016年10月に発表した「競技力強化のための今後の支援方針（鈴木プラン）」では、アスリートの発掘が重要な課題として位置付けられました。このことから、2017年度から、日本スポーツ協会（当時「日本体育協会」）は、日本スポーツ振興センターから委託を受け、「競技力向上事業」の一環として、全国の将来性豊かなアスリートを発掘するためのプロジェクト「ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト（J-STAR PROJECT）」を実施しています。スポーツ庁

をはじめとする関係5団体が連携し、全国規模で将来性豊かな選手の可能性を見出します。（※）対象競技は開催年度によって異なります。

◆JSP0（公益財団法人日本スポーツ協会）について

JSP0は、1911年7月に「国民スポーツの振興」と「国際競技力の向上」を目的に、大日本体育協会として創立。日本体育協会を経て、2018年4月1日、現在の名称となりました。

JSP0では、国民体育大会や日本スポーツマスターズなど各世代を網羅したスポーツ大会の開催、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブなどスポーツをする場の創出、スポーツの楽しみをサポートするスポーツ指導者の育成、最新の医・科学に根差したスポーツの推進など、誰もが自発的にスポーツを「する」「みる」「ささえる」ための幅広い事業を展開しています。また、わが国スポーツの統一組織として、国や60を超える競技団体、47都道府県スポーツ・体育協会など、様々なスポーツ関連団体・組織や個人と連携しています。

WE SUPPORT JAPAN SPORT.

JSP0 OFFICIAL PARTNER



大塚製薬



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ



日本文化出版



フェアプレイで日本を元気に ～あくしゅ、あいさつ、ありがとう～
目指せ100万人のフェアプレイ宣言！WEBで好評受付中！
<http://www.japan-sports.or.jp/fair/>

